

## 昭和62年度地区センター活動記録

### (1) 予算の執行

- i) 配当額 3,700,000円を通常活動経費および本センター報告出版等にあてる。

### (2) 一般活動

- i) 地区幹事会・センター運営委員会（合同）、研究懇談会

第1回：昭和62年6月16日

第2回：昭和62年11月11日

研究懇談会：Importance of Overseas Field Surveys for Natural disaster Reduction Study-through a series of experiences in earthquake countries, by Dr. A. W. Coburn (Cambridge University, England)

第3回：昭和63年4月5日

研究懇談会：『災害資料の在り方』に関する討議，話題提供〔新聞記事による雪害資料の収集・整理〕秋田谷英次（北大低温研）

- ii) 概算要求書作成小委員会（センター将来計画の検討）

開催：昭62年11月28日，12月12日，昭63年1月14日，2月8日，3月12日の5回

提出：昭63年1月20日（基本部分），昭63年5月10日（最終案）

- iii) 新旧幹事交歓会 昭和62年7月31日，札幌サンプラザにて，出席者11名

### (3) 研究教育活動

- i) 突発災害研究：層雲峡問題（代表者：勝井義雄）

- ii) 総合講義（教養学部，1年後期）：『災害科学の学際的研究』（責任者：太田裕，他9名）

### (4) 地区総会

- i) 昭和63年2月6日，北大低温研講義室にて地区部会と合同で開催

- ii) 年次報告および将来構想（センター概算要求案）の提示・討議

- iii) 特別講演の実施

○勝井義雄（北大理学部教授）：北海道における火山噴火と災害

○加賀屋誠一（北大環境科学研究科助教授）：災害意識情報と地域診断システム

- iv) 『災害資料』に関する集中討議

v) 懇親会

(4) 出版

i) 北海道地区自然災害資料センター報告 第2巻(昭63.3)

特集：高密度震度調査報告資料集 p.528